

## 10. 介護予防・日常生活支援総合事業 適切なサービスの選択、提供について

介護予防・日常生活支援総合事業については、要支援者等の多様な生活支援ニーズに対応するため、予防給付相当サービス、基準緩和型サービス、短期集中予防サービスに類型し事業を実施しております。事業の実施にあたっては、地域における自立した日常生活を継続できるよう、利用者の心身の状況等に応じて、適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されることが重要です。

つきましては、以下の「サービスごとの対象者の目安」対象者の目安を参考にいただき、サービスを選択、提供していただきますようお願いいたします。

【福井市介護予防・日常生活支援総合事業介護予防ケアマネジメントマニュアルより】

### サービスごとの対象者の目安

#### 【予防給付相当サービス】

日常生活になんらかの支障があり、支援が必要な人

予防に取り組むことで、A型へ移行、卒業も目指すことができる

項目	状態像の目安
筋力低下がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>段差昇降には、手すりが必要。</li> <li>立ち上がりの動作は、何かにつかまればできる。</li> <li>転倒のリスクが高い、または転倒歴あり、筋力とバランス力が低下している。</li> <li>家事動作も少なく、主体的に体を動かすことがない。意欲的でなく、日中、座っているまたは横になっている。</li> </ul>
家事支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>単純な代行ではなく、判断を伴う家事（冷蔵庫の食品管理、塩分量を意識した調理や買い物等）</li> <li>長時間の立位が困難で、調理や掃除ができない。</li> <li>掃除機が持てない。</li> <li>麻痺や拘縮等により、動作に見守りや介助が必要</li> </ul>
入浴に介助が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>浴槽の跨ぎの動作ができない</li> <li>背部や足先等の洗身、洗髪に介助が必要</li> <li>自宅の浴室がない、または浴室の環境により、入浴ができない</li> </ul>
専門職の介入が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>うつ病や統合失調症の精神疾患や高次脳機能障害、認知機能低下等があり、本人の体調や気持ちに合わせて、慎重に対応する等の配慮が必要</li> <li>ゴミ屋敷や、介入拒否、社会と断絶している等により、専門的な支援を要する</li> <li>神経難病で、リハビリ職の介入が必要</li> </ul>
疾病の管理が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>心疾患や呼吸器疾患、がん等による、日常生活動作時の息切れ等により、日常生活に支障がある</li> <li>糖尿病や高血圧等の経過観察や生活の声かけが必要</li> <li>運動をする際に、高血圧、低血糖等の症状に注意が必要</li> <li>体重管理や内服管理、食事管理等、自己管理が不十分</li> </ul>
栄養	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事制限はないが、食事に偏りがあり、必要な栄養を摂取できない</li> </ul>
閉じこもりで交流がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者との交流意欲が低く、日常生活でも意欲低下がある。</li> <li>外出しなければ、誰とも話す機会がない。</li> <li>長期間の閉じこもり（概ね6か月以上）</li> </ul>

### 【基準緩和型（A型）サービス】

予防相当のサービス対象者以外であり、介護保険事業所によるサービスが必要な人

日常生活に大きな支障はない。改善に向けた意欲がある人

項目	状態像の目安
筋力低下がある	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 転倒はないが、足が疲れやすく外出の機会が減っている。</li><li>・ 膝痛などのため、歩行距離や歩行時間が短くなった。</li><li>・ このままでは、筋力低下が進行するリスクが高い。</li><li>・ フレイル状態で、日々の生活が悪循環になっている。</li></ul>
家事支援が必要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 膝痛や腰痛により、お風呂やトイレの掃除が難しい。</li><li>・ 圧迫骨折等で一時的に家事が困難なため、家事代行が必要</li><li>・ 判断能力に問題はないが、腰痛・膝痛により移動や重いものを持つことが困難。</li><li>・ もともと家事の習慣や経験がなく、家事動作の自立に向けた指導が必要</li></ul>
意欲がある	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 身体機能の改善を図り、自立した生活を送りたいという意欲がある。</li></ul>
閉じこもりで交流がない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 転居等により、友人知人がいないため、交流がない</li><li>・ 通院や買い物以外で外出する機会がなく、人と言葉を交わす機会がない</li></ul>

### 【短期集中予防サービス（C型）】

集中的なりハビリにより、効果が期待できる

項目	状態像の目安
筋力低下	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ADL や IADL の改善に向けた支援が必要な人</li><li>・ 退院直後等で一時的に身体機能が低下しており、リハ職等専門職による集中的なトレーニングにより改善が見込まれる人</li><li>・ 慢性的な整形外科疾患で、痛みがある人</li></ul>
栄養	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 体重減少、食事の偏り等、栄養状態が悪い</li><li>・ 食事が不規則で量も少なく、栄養が不足している</li></ul>
意欲	<ul style="list-style-type: none"><li>・ リハビリをして改善したいと意欲的な人</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日常生活に支障がある生活行為について、専門職による自宅での評価、指導等を含め支援することにより、効果が見込まれる人</li><li>・ 必要なサービスの選定のために評価する</li><li>・ デイサービス等の利用に抵抗を感じている高齢者（認知症含む）は短期間で終了するため利用しやすい。</li></ul>